

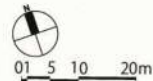
大塚駅北口駅前植栽計画

● イチョウ (既存の 8 本)

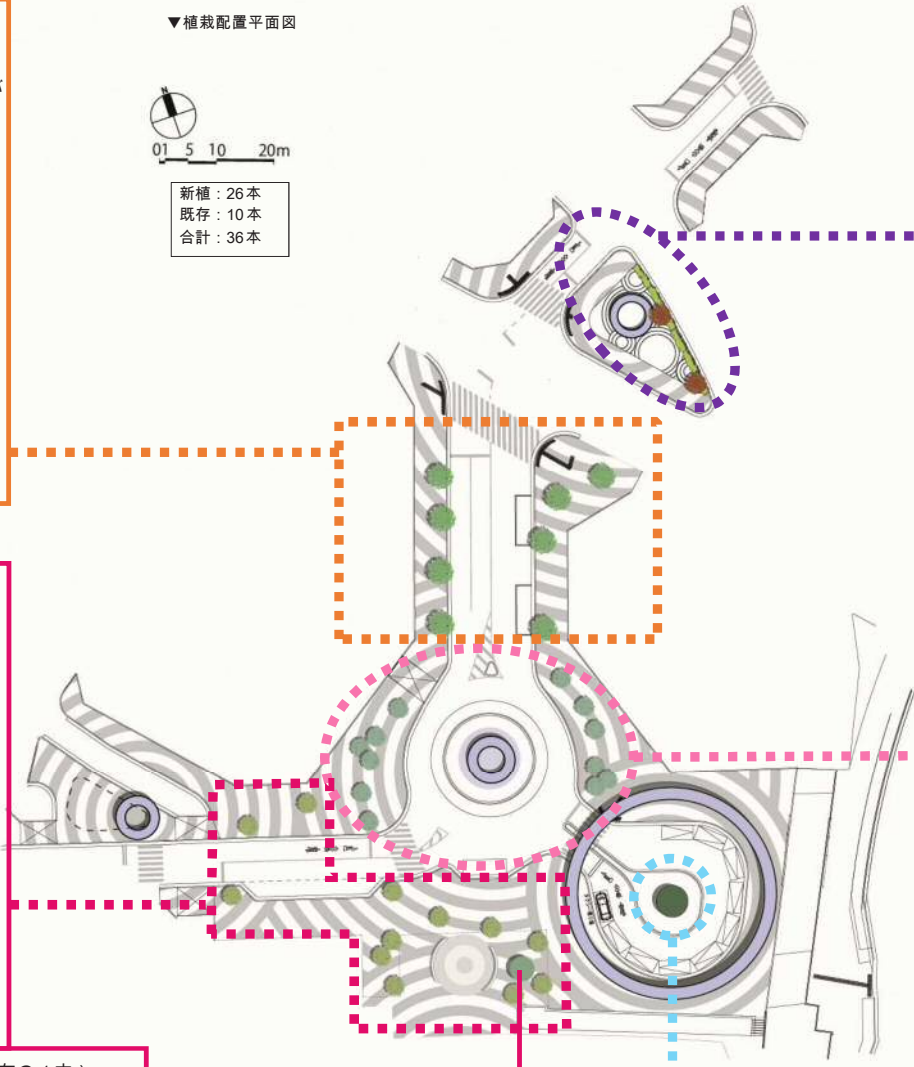
- ① 既存街路樹のイチョウを 8 本を保存する。
- ② 見通し、景観性、街路灯の設置場所などを配慮し樹木の剪定及び左右バランスを考慮し必要に応じて適切な場所への移植を行う。



▼ 植栽配置平面図



新植：26 本  
 既存：10 本  
 合計：36 本



● 都電バラ

都電沿線のコンセプトを統一するために、バラを新植する。



● イロハモミジ (2 本)

三角地の枯山水のテーマを合わせてイロハモミジを植栽し、おもてなしの空間を創造する。



● アオハダ (12 本)

- ① 駅前空間の一体感を持たせるために、株立ちの樹形とする。
- ② 春の緑葉・秋の色葉や果実で駅前広場のおもてなしとする。
- ③ 動線、見通しなどを配慮し、既存の緑化面積と同等以上を目指し、新植のアオハダの配置などを検討する。



▲ 立面 (高木+草本)

● ソヨゴ (12 本)

- ① ロータリーモニュメントを強調するために、成長の遅い、背景の樹木はあまり際立たない樹種とする。
- ② JR 駅コンコースの正面であり、季節を通じて緑を感じられるよう常緑樹とする。
- ③ イチョウ、アオハダ、草本などと一体となり多彩な駅前空間を創造する。



▲ 立面 (高木+草本)

● ケヤキ (既存の 1 本)

- ① ケヤキの 1 本をシンボルとして保存する。
- ② 保存するケヤキは整枝選定し樹形を整える。



● ヒマラヤスギ (既存の 1 本)

- ① ヒマラヤスギをシンボルとして保存する。
- ② 整枝選定し樹形を整える。

